

公益社団法人全日本広告連盟  
令和元年度 事業報告書

自：平成31年4月1日

至：令和2年3月31日

I. 主な活動

II. 組織状況

III. 業務執行体制等

# 令和元年度事業報告

公益社団法人全日本広告連盟（全広連）は、事務局業務全般を正会員の中核である公益社団法人東京広告協会に委託し運営を進め、令和元年度事業活動を8ブロック会議において検討、理事会の承認を経て、全国37広告協会の支援・協力のもと全面的な公益事業の実施を見据えつつ、以下の事業活動を推進した。

## I. 主な活動

### 1. 講座・シンポジウム・全国大会等（定款第4条第1項）

#### (1) 第30回（令和元年度）全広連夏期広告大学

第30回全広連夏期広告大学は、（公財）吉田秀雄記念事業財団の協賛を受け、岡山市（令和元年7月25日・岡山広告協会）、大阪市（同31日・大阪広告協会）、金沢市（8月8日・金沢広告協会）、盛岡市（同29日・岩手広告協会）、米子市（9月9日・山陰広告協会）の5地区で開催地広告協会との共催により開催した。

令和元年度も、共催する各広告協会の意に添った講義内容で地区ごとに各講座を構築した。岡山講座は「地域資源の活性化に向けて、私たちに出来ること」、大阪講座は「SDGsは創りだす未来 ～今、私たちに何ができるのか～」、金沢講座は「地域で働くことの可能性を拓く」、盛岡講座は「地域で働く喜びや、豊かな将来性を見出す」、米子講座は「新たな発想とコラボレーションで、地域資源の掘り起こしに取り組む」をテーマとして、各協会の会員をはじめ一般、学生の参加者は5地区で述べ485名を数えた。

#### (2) 第12回（令和元年度）全広連秋のシンポジウム

12回目を迎えた全広連秋のシンポジウムは、（公財）吉田秀雄記念事業財団の協賛を受け、開催地広告協会との共催により令和元年9月18日・甲府市（山梨広告協会）、11月26日・仙台市（仙台広告協会）、12月14日・青森市（青森広告協会）の3地区で開催した。

夏期広告大学と同様、開催地広告協会の意向を汲み、甲府会場は「日本の各地を、世界の旅行地に」「サイクリストの視点で地域の未来を描く」、仙台会場は「クリエイティビティがつくる次の未来」、青森会場は「地域発メディアビジネス／広告ビジネスの挑戦」をテーマとして、講師2～3名による個別プレゼンテーションとトークセッションを行う内容で実施、各地域の協会会員をはじめ学生や一般から延べ380名の参加があった。

#### (3) 第67回全日本広告連盟富山大会

第67回全日本広告連盟富山大会は令和元年5月16日と17日の2日間、大会テーマ「広告の富を、次代に ～「先用後利」の地から～」のもと富山市の富山市芸術文化ホールを主会場

に開催し、全国から一般も含め約1,300名の広告関係者が参集した。

5月16日開催の大会式典は忠田憲美富山大会実行委員長の開会宣言で幕を開け、高木繁雄大会会長の歓迎挨拶、大平明全広連理事長の大会挨拶に続き、来賓の石井隆一富山県知事、森雅志富山市長からそれぞれ祝辞が述べられた後、全広連の概要並びに事業をまとめた映像「全広連の一年」を上映し、平成30年度の活動を紹介した。

次に全広連顕彰の贈呈式に移り、第13回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞を(株)北日本新聞社に、同賞選考委員会特別賞を(株)岩手日報社に贈呈し、代表して(株)北日本新聞社取締役営業本部長兼営業局長・蒲地誠氏から受賞の言葉が述べられた。

引き続き第13回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞最優秀賞を(株)南都銀行に、同優秀賞を日本ガス(株)に贈呈し、代表して(株)南都銀行取締役常務執行役員・中室和臣氏から受賞の言葉が述べられた。

次いで、(株)宣伝会議・田中里沙氏をコーディネーターに、パナソニック・竹安聡氏、日本テレビ放送網(株)・小山章司氏、Twitter Japan(株)・笹本裕氏、(株)電通・佐藤雄介氏のパネリスト4氏によるパネルディスカッション「広告が直面する課題と広告の未来 ～広告界が「サステナブル」であるために～」を実施した。

昼食を挟み午後からは、全広連顕彰である第7回全広連日本宣伝賞の贈呈式を行い、松下賞を九州旅客鉄道(株)代表取締役会長執行役員の唐池恒二氏、正力賞を(株)ジャパネットたかた創業者の高田明氏、吉田賞を(株)博報堂DYホールディングス代表取締役社長の戸田裕一氏、山名賞をコピーライターの西村佳也氏、特別賞を東京経済大学副学長の岸志津江氏に贈呈、各受賞者より謝辞が述べられた。

続いて、記念公演として落語家・立川志の輔氏が落語「パールのようなもの」を披露した。

最後に、次回第68回全広連ふくしま大会の開催地紹介が行われ、同大会組織委員会会長・渡邊博美氏から挨拶が述べられた。

## 2. 広告倫理等普及啓発（定款第4条第2項）

### (1) 第13回（令和元年）全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞の贈呈

広告活動の発展のため、斬新な広告企画や大きな成果をあげた広告キャンペーン等を実施した会員社などを顕彰する第13回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞は、10協会12作品の応募の中から「明治150年～富山気質（かたぎ）を継ぐ」を実施した(株)北日本新聞社（富山広告協会応募）を、また、同賞選考委員会特別賞には「3月11日を、すべての人が『大切な人を想う日』に。」を実施した(株)岩手日報社（岩手広告協会応募）を選出し、令和元年5月16日に開催した第67回全広連富山大会の式典席上で贈呈した。

### (2) 第13回（令和元年）全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞の贈呈

地域のクリエイティブ活動の発展・向上を図るため、各地広告協会が推薦する優秀なクリエイティブ作品の広告主企業を顕彰する第13回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞は、18協会推薦による38作品の応募の中から最優秀賞に大阪広告協会推薦の(株)南都銀行による「南都家の一族」（テレビCM）を、優秀賞に鹿児島県広告協会推薦の日本ガス(株)による「あした

を、あかるく、あったかく。」(テレビCM)を選出し、令和元年5月16日に開催した第67回全広連富山大会の式典席上で贈呈した。

### (3) 第7回(令和元年)全広連日本宣伝賞の贈呈

広告の社会的使命の促進に係る広告界の向上・発展に尽くし寄与した功績を顕彰する第7回全広連日本宣伝賞は、広告主を対象とする「松下賞」に唐池恒二氏(九州旅客鉄道㈱代表取締役会長執行役員)を、媒体社・メディア関係会社及びイベント・コンテンツのプロデューサーを対象とする「正力賞」に高田明氏(㈱ジャパネットたかた創業者、㈱V・ファーレン長崎代表取締役社長)を、広告関連会社を対象とする「吉田賞」に戸田裕一氏(㈱博報堂DYホールディングス代表取締役社長、㈱博報堂取締役会長)を、クリエイターを対象とする「山名賞」に西村佳也氏(コピーライター)を、「特別賞」に岸志津江氏(東京経済大学副学長・経営学部教授)を選出し、令和元年5月16日に開催した第67回全広連富山大会の式典席上で贈呈した。

なお、第7回全広連日本宣伝賞選考委員会が受賞者を選考するにあたり、各賞の候補者について正会員である各地広告協会を通じ広く推薦を募ったほか、「山名賞」はその専門性に鑑み「選考準備委員会」で事前選考を専門家により行い西村佳也氏を選出、「第7回全広連日本宣伝賞選考委員会」に上程し授賞を決定した。

## 3. 支援助成(定款第4条第3項)

### (1) 助成金支給

広告に関する学問研究の発展のため日本広告学会の活動の費用を助成したほか、全広連助成金については各地域社会への貢献を目的とする公益目的事業の費用の一部として平成30年度中に8ブロック会議で支給額をまとめ、理事会の承認を得て、申請のあった7協会に支給した。

### (2) 各地広告協会主催セミナー・講演会への講師派遣

各地広告協会の活動を支援するため、各地からのセミナー・講演会等への講師要請に応え、10協会13事業に講師を手配、派遣した。

#### ① 鹿児島広告協会

第44回鹿児島広告協会賞記念講演会 <※令和元年度助成金支給対象事業>  
平成31年4月25日、於・鹿児島市/ホテル・レクストン鹿児島(参加者100名)  
演題 「アホがつくる街と広告」～アイデアの力でローカルを元気に～  
講師 日下慶太氏(㈱電通関西支社コピーライター)

#### ② 福井広告協会

総会記念講演会  
令和元年6月7日、於・福井市/福井商工会議所(参加者80名)  
演題 「パナソニック宣伝100年から見えた“共感”マーケティングの今」  
講師 岡山晃久氏(パナソニック㈱コンシューマーマーケティングジャパン本部マーケティング部長)

③静岡県広告協会

2019年度広告講座

令和元年9月26日、於・静岡市／江崎ホール（参加者60名）

演題 「地域を丸ごと盛り上げる」～世界からミナミへ、ミナミから日本全国へ～

講師 牧香代子氏（㈲リンクコーポレーション代表取締役社長）

④静岡県広告協会

2019年度広告講座

令和元年9月27日、於・浜松市／アクトシティ浜松（参加者50名）

演題 「地域を丸ごと盛り上げる」～世界からミナミへ、ミナミから日本全国へ～

講師 牧香代子氏（㈲リンクコーポレーション代表取締役社長）

⑤京都広告協会

秋期アド・フォーラム <※令和元年度助成金支給対象事業>

令和元年9月27日、於・京都市／からすま京都ホテル（参加者180名）

演題 「味の素のスポーツ支援活動と企業コミュニケーション」

講師 片上崇氏（味の素㈱理事広告部長兼オリンピック・パラリンピック推進室長）

演題 「平成～令和へ～トレンド・キーワードとの向き合い方」

講師 牛窪恵氏（世代・トレンド評論家）

⑥愛媛広告協会

愛媛広告ゼミナール

令和元年10月3日、於・松山市／東京第一ホテル松山（参加者140名）

テーマ 「地域創生は地域広告の活性化から～今、私たちにできること」

演題 「観光を切り口とした瀬戸内エリア活性化への取り組み」

講師 藤田明久氏（㈱瀬戸内ブランドコーポレーション代表取締役社長）

演題 「市民と共創するから話題化できる！（別府・湯～園地の実例を交えて）」

講師 島津裕介氏（㈱電通第1統合ソリューション局クリエイティブ・ディレクター）

⑦徳島広告協会

徳島広告協会／徳島新聞アド・クラブ合同講演会

令和元年11月12日、於・徳島市／徳島グランヴィリオホテル（参加者90名）

演題 「日本の未来を、地域から拡大する」

講師 鷹觜愛郎氏（㈱博報堂クリエイティブディレクター）

⑧富山広告協会

秋の広告セミナー

令和元年11月22日、於・富山市／ANAクラウンプラザホテル富山（参加者120名）

演題 「広告と地域活性化」

講師 日下慶太氏（㈱電通関西支社コピーライター）

太田麻衣子氏（㈱博報堂クリエイティブ・ヴォックス代表取締役社長）

⑨秋田広告協会

秋田広告セミナー2019

令和元年11月27日、於・秋田市／イヤタカ（参加者100名）

テーマ 「危機感をポジティブなチカラに!!崖っぷちだから成立する企画術」

講師 日野昌暢氏（㈱博報堂ケトルプロデューサー／クリエイティブディレクター）

河西智彦氏（㈱博報堂クリエイティブディレクター）

⑩愛知広告協会

第7回実践広告ワークショップ <※令和元年度助成金支給対象事業>

第一講座・令和2年1月18日、於・名古屋市／新東通信名古屋本社（参加者34名）

講師 石塚美代子氏（三菱電機㈱宣伝部BtoCコミュニケーショングループマネージャー）

須田和博氏（㈱博報堂エグゼクティブ・クリエイティブディレクター）

土橋通仁氏（㈱電通中部支社クリエイティブディレクター／アートディレクター）

#### ⑪静岡県広告協会

2019年度広告講座

令和2年2月7日、於・沼津市／プラサヴェルデ（参加者45名）

演題 「地域を丸ごと盛り上げる」～世界からミナミへ、ミナミから全国へ～

講師 牧香代子氏（㈱リンクコーポレーション代表取締役社長）

#### ⑫山形広告協会

令和元年度山形広告セミナー

令和2年2月18日、於・山形市／山形グランドホテル（参加者100名）

演題 「メディアコミュニケーションのこれから～資生堂ジャパンのケースを踏まえて～」

講師 小出誠氏（資生堂ジャパン㈱メディア統括部エグゼクティブマネージャー）

演題 「地域仕事で守るべき、広告屋のスキルと姿勢。」

講師 渡邊千佳氏（㈱電通第2CRプランニング局コピーライター）

## 4. 連絡交流（定款第4条第4項）

### (1) 関係官公庁への要望活動

広告課税問題について、全広連をはじめとする広告・報道関係8団体（全広連、日本アドバタイザーズ協会、日本新聞協会、日本民間放送連盟、日本雑誌協会、日本雑誌広告協会、日本広告業協会、日本屋外広告業団体連合会）で情報を収集・共有したところ、課税に向けた具体的な動きは現状全くないことが分かった。このため、当面は情勢を静観し続けることを決め、状況に変化が生じた際に各団体間で連携をとり直ちに対応できるよう、態勢を整えておくことになった。結果として、令和元年度は広告課税に向かう動きはなかったため、課税に反対する要望活動は行わなかった。

### (2) 関係官公庁への協力活動

下記の諸官庁ならびに広告団体の事業に協力、後援を行った。

- ① 内閣府からの会員への周知依頼に協力
- ② 経済産業省からの各種調査及び会員への周知依頼に協力
- ③ 厚生労働省からの会員への周知依頼に協力
- ④ 国土交通省の「屋外広告物適正化旬間」に協力
- ⑤ 総務省の「体力づくり国民会議」運動に協力
- ⑥ 日本屋外広告業団体連合会の第46回「屋外広告の日」キャンペーンを後援
- ⑦ 日本サイン・デザイン協会の「第53回SDA賞」を後援
- ⑧ 日本広告学会「クリエイティブ・フォーラム2019」を後援

### (3) 関係団体との協力、連絡及び交流

広告関係24団体と定期的に会合を開いて情報交換を行ったほか、広告関係29団体とともに「令和2年広告界合同年賀会」を1月8日に開催し、関係団体並びに関係機関との意思疎通及び交流を図った。

### (4) アジア太平洋広告祭

作品応募要項や申し込み等、英文の日本語翻訳を全広連ウェブサイトに掲載し、会員他関係者への便宜に役立てるための協力を行った第23回アジア太平洋広告祭(ADFEST2020)は、2020年3月18日から21日までの会期でタイ・パタヤにて開催する予定とされていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて開催延期となった。これに伴い、3月17日から22日の日程で全広連が企画していたADFEST研修ツアーについても延期した。

また、同じくタイ・パタヤで3月16日から18日に行われる予定だった、アジア諸国の30歳以下のクリエイターを対象とする広告コンペティションYoung Lotus Workshop (YLW) 2020も同様に延期となったが、今後の開催に備え、全広連はこれに参加する日本代表1チーム(2名)を選出するための国内コンペを実施した。参加を広く一般に向け公募した結果、145チームの応募を得て、第一次選考を令和2年2月3日に、最終選考を2月12日にそれぞれ東京・電通銀座ビル会議室で行った。鏡明氏(株ドリル)をはじめとする審査員による選考の結果、安本一慶氏(ADKクリエイティブ・ワン)・高田雄大朗氏(ADKマーケティング・ソリューションズ)のチームを選出した。

2月5日には東京・銀座フェニックスホールで全広連主催「PreADFEST2020」を実施。前述の国内コンペ・第一次選考の結果発表と表彰セレモニーをメインに、国内コンペ全エントリー作品の展示、審査員による講評、ADFEST2020概要の紹介、及びヤングクリエイターの交流の場として210名が参加した。

なお、昨年度・2019年3月に行われたADFEST2019については、その報告会を4月11日、東京・電通銀座ビルで日本からの審査員及びYLW2019日本代表チーム等をスピーカーに招いて開催した。

### (5) アジア広告会議

パキスタン・ラホールで2019年12月3日から5日まで開催された、全広連が日本を代表して加盟しているアジア広告協会連盟(AFAA)の主催事業であるアジア広告会議(AdAsia2019)に参加、協力した。

## 5. 情報発信(定款第4条第5項)

### (1) 機関誌「全広連」の発行

全広連活動の報告、各地広告協会活動の紹介、及び広告界の動向解説等を掲載した機関誌「全広連」の通巻1081号~1086号を隔月刊として奇数月の5日付で発行し、各地37広告協会の会員をはじめ関係団体、諸官庁、図書館、広告関係者や一般に向けて配布した。

## (2) WEBサイト

WEBサイトを随時更新し、講座・シンポジウム・全国大会等の開催告知及び参加募集、当連盟概要、機関誌など当連盟の最新情報を公開したほか、正会員である加盟各地37広告協会の情報を掲載し、会員にとどまらず広く一般に向け発信した。

このほか、一般紙及び業界紙（誌）宛にニュースリリースを発信し、事業活動のPRに努めた。

## 6. 「全広連名鑑」の刊行（定款第4条第6項）

北は北海道から南は沖縄まで、全広連加盟37広告協会の会員名簿「全広連名鑑」の第44巻、令和元年版を刊行した。会員名簿のほか全広連関係資料、広告統計資料、広告関係の公共機関並びに関連団体の所在地などを例年どおり掲載した。

## 7. 総会・理事会・8ブロック会議・事務局長会議

### (1) 総会

令和元年度の総会は、次のとおり2回（通常総会1回、臨時総会1回）開催し、いずれの議案も委任出席者を含め満場異議なく（決議の省略においては全正会員一致の同意により）承認した。

#### i) 第67回通常総会

日時 令和元年5月15日 午後3時30分～4時40分

場所 ANAクラウンプラザホテル富山3階「鳳」（富山市大手町2-3）

正会員総数 37広告協会（定足数：19広告協会）

出席正会員数 37広告協会（正会員代表者出席：22広告協会、委任状出席：15広告協会）

出席理事 2名、出席監事 2名

議題 第1号 平成30年度事業報告の件

第2号 平成30年度決算書類承認の件（第1号議案）

第3号 理事及び監事選任の件（第2号議案）

第4号 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件（第3号議案）

第5号 令和元年度事業計画及び収支予算の内容報告の件

第6号 「事務局業務委託契約書」一部改正及び再締結報告の件

第7号 第68回（令和2年度）全広連大会の概要報告の件

第8号 第13回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞受賞者報告の件

第9号 第13回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞受賞者報告の件

第10号 第7回全広連日本宣伝賞受賞者報告の件

第11号 内閣府・公益認定等委員会による立入検査報告の件



## 第12号 島根広告協会改称の報告の件

### ii) 令和元年度第1回臨時総会（書面による全正会員からの同意に基づくみなし決議）

令和元年11月13日、理事長が正会員（各地37広告協会）全員に対して総会決議の目的事項である下記3議案について提案書及び議案書を発し、12月17日までに正会員の全員から書面により同意する旨の意思表示を得たので、決議の省略の方法により当該提案を承認可決する旨の総会決議があったものとみなされた。

#### 決議の目的事項

第1号議案 理事1名選任の件

第2号議案 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件

第3号議案 令和2・3年度全広連新会費の件

## (2) 理事会

令和元年度の理事会は次のとおり4回行い、いずれの議案も出席理事全員一致で異議なく（決議の省略においては全理事一致の同意により）承認した。

### i) 平成31年度第1回理事会

日時 平成31年4月19日 午後4時～5時10分

場所 コートヤード・マリオット銀座東武ホテル2階「桜」（東京都中央区銀座6-14-10）

理事総数 13名（定足数：7名）

出席理事数 12名、出席監事数 2名

#### 議題 決議事項

第1号議案 平成30年度事業報告及び附属明細書承認の件

第2号議案 平成30年度決算書類承認の件

第3号議案 平成31年度補正収支予算承認の件

第4号議案 理事及び監事選任候補者の件

第5号議案 第67回通常総会の招集及び付議議案の件

第6号議案 ブロック代表者選任の件

第7号議案 全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会委員選任の件

第8号議案 第68回（令和2年度）全広連大会概要の件

第9号議案 第13回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞受賞者の件

第10号議案 第13回全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞受賞者の件

第11号議案 「謝金支給規程」一部改正の件

第12号議案 事務所賃貸借契約の件

#### 報告事項

1. 職務執行状況の報告

### ii) 令和元年度第2回理事会

日時 令和元年5月15日 午後4時40分～4時45分

場所 ANAクラウンプラザホテル富山3階「ASUKA」（富山市大手町2-3）

理事総数 13名（定足数：7名）

出席理事数 12名、出席監事数 2名

## 議題 決議事項

### 第1号議案 副理事長選定の件

#### iii) 令和元年度第3回理事会（書面による全理事からの同意に基づくみなし決議）

令和元年10月15日、理事長が理事及び監事の全員に対して、理事会決議の目的事項である下記7議案について提案書及び議案書を発し、11月13日までに書面により理事全員から同意の旨、監事全員から異議がない旨の意思表示を得たので、提案された7議案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

##### 決議の目的事項

- 第1号議案 理事選任候補者の件
- 第2号議案 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件
- 第3号議案 令和2・3年度全広連新会費の件
- 第4号議案 令和元年度第1回臨時総会の招集及び付議議案の件
- 第5号議案 ブロック代表者選任の件
- 第6号議案 全広連日本宣伝賞選考委員会委員選任の件
- 第7号議案 全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会委員選任の件

#### iv) 令和元年度第4回理事会（書面による全理事からの同意に基づくみなし決議）

当初、令和2年3月5日午後2時より、電通銀座ビル8階会議室に於いて同理事会を開催することで理事・監事に招集を通知していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に鑑み、急遽開催を取り止め決議の省略において行うことに切り替え、令和2年3月3日、理事長が理事及び監事の全員に対して、理事会決議の目的事項である下記9議案について提案書及び議案書を発し、3月18日までに書面により理事全員から同意の旨、監事全員から異議がない旨の意思表示を得たので、提案された議案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

##### 決議の目的事項

- 第1号議案 「事務局業務委託契約書」一部改正及び再締結の件
- 第2号議案 令和2年度全広連助成金支給の件
- 第3号議案 令和2年度事業計画書承認の件
- 第4号議案 令和2年度収支予算書等承認の件
- 第5号議案 次期顧問選任の件
- 第6号議案 次期8ブロック代表者選任の件
- 第7号議案 全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会次期委員選任の件
- 第8号議案 全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞選考委員会次期外部有識者委員選任の件
- 第9号議案 全広連日本宣伝賞選考委員会次期委員選任の件

### (3) 8ブロック会議

令和元年度の8ブロック会議は次のとおり4回開催し、審議事項をいずれも代理出席者を含めた各ブロック代表者全員一致で異議なく了承した。

#### i) 第1回

日時 平成31年4月12日 午後2時～4時45分

場所 電通銀座ビル8階会議室（東京都中央区銀座7-4-17）

議題 審議事項

1. 議長選任の件
  2. ブロック代表者交代の件
  3. 平成30年度事業報告の件
  4. 平成30年度決算の件
  5. 平成31年度補正収支予算の件
  6. 理事及び監事候補者の件
  7. 全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会委員交代の件
  8. 第68回（令和2年度）全広連大会開催概要の件
  9. 第13回全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞受賞者の件
  10. 「謝金支給規程」一部改正の件
  11. 事務所賃貸借契約の件（事務所賃借料負担割合について）
  12. 平成31年度第1回理事会開催の件
  13. 令和元年度第2回理事会開催の件
  14. 「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン／クリエイティブ大賞」今後についての件
- 報告事項
- ① 島根広告協会・改称の報告
  - ② 令和元年度・全広連夏期広告大学／秋のシンポジウム
  - ③ 海外関係
  - ④ 関係官庁からの周知事項

## ii) 第2回

日時 令和元年8月20日 午後3時～5時

場所 Web会議、電通銀座ビル8階会議室（東京都中央区銀座7-4-17）

議題 審議事項

1. 「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン／クリエイティブ大賞」今後についての件
2. 事務所内什器備品、PC入替え及び会計システム導入等の件
3. 高画質ビデオ会議システムの導入検討

## iii) 第3回

日時 令和元年10月10日 午後2時～4時55分

場所 電通銀座ビル8階会議室（東京都中央区銀座7-4-17）

議題 審議事項

1. ブロック代表者交代の件
2. 理事交代の件
3. 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件
4. 令和2・3年度全広連新会費の件
5. 全広連夏期広告大学・本年度の総括と今後の方針についての件
6. 全広連日本宣伝賞選考委員会委員選任候補者の件
7. 全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会委員交代の件

8. 令和元年度第3回理事会（みなし決議）実施の件
  9. 2026年アジア大会ロゴマークコンペ協力要請の件
  10. 高画質ビデオ会議システム導入の件
  11. 「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン／クリエイティブ大賞」今後についての件  
各ブロックへの依頼事項
  12. 任期満了（令和2年5月20日）に伴う理事候補者選定依頼の件
  13. 任期満了（令和2年3月31日）に伴う顧問、各ブロック代表者及び全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会委員候補者選定依頼の件
- 報告事項
- ① 令和元年度収支見込み
  - ② 事務所賃貸借契約の締結
  - ③ ADFEST2019報告会
  - ④ 第67回全日本広告連盟富山大会
  - ⑤ 令和2年度税制・広告課税問題への対応
  - ⑥ 令8回「全広連日本宣伝賞」候補者推薦のお願い
  - ⑦ 第112回全広連全国事務局長会議
  - ⑧ 第12回（令和元年度）全広連秋のシンポジウム
  - ⑨ 第31回アジア広告会議（AdAsia2019）パキスタン・ラホール大会
  - ⑦ 事務所PCの入替え（リース新契約）

#### iv) 第4回

日時 令和2年2月27日 午後2時～5時5分

場所 電通銀座ビル8階会議室（東京都中央区銀座7-4-17）

議題 審議事項

1. 「事務局業務委託契約書」一部改正の件
  2. 令和2年度全広連助成金支給の件
  3. 令和2年度事業計画案の件
  4. 令和2年度収支予算案の件
  5. 次期顧問候補者の件
  6. 次期8ブロック代表候補者の件
  7. 全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞選考委員会・次期委員候補者の件
  8. 全広連鈴木三郎助地域クリエイティブ大賞選考委員会・次期外部有識者委員候補者の件
  9. 全広連日本宣伝賞選考委員会・次期委員候補者の件
  10. 令和元年度第4回理事会開催の件
  11. 「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン／クリエイティブ大賞」今後についての件
  12. 全広連ネットワークの強化・活用についての件
- 報告事項
- ① 名誉顧問の退任
  - ② 第12回（令和元年度）全広連秋のシンポジウム
  - ③ 第8回全広連日本宣伝賞受賞者

- ④ 国際関係活動
- ⑤ 広告関係29団体共催 令和2年広告界合同年賀会
- ⑥ 令和元年度全広連事業活動記録

#### (4) 全国事務局長会議

令和元年度の事務局長会議は、次のとおり2回開催した。

##### i) 第111回全国事務局長会議

日時 平成31年4月19日 午後0時25分～2時

場所 コートヤード・マリオット銀座東武ホテル2階「桜」(東京都中央区銀座6-14-10)

- 議事
1. 平成31年度第1回理事会承認事項の件
  2. 平成31年度事業計画及び収支予算
  3. 8ブロック会議報告
  4. 平成30年度第4回及び第5回理事会結果報告
  5. 第67回通常総会の件
  6. 第67回全広連富山大会について富山広告協会より報告
  7. 第68回全広連大会開催概要の件
  8. 島根広告協会・改称の報告
  9. 第71回以降の全広連大会開催地の件
  10. 全広連「賛助会員」の件
  11. 平成31年度全広連助成金の件
  12. 第13回「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン大賞」贈呈の件
  13. 「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン／クリエイティブ大賞」今後についての件
  14. 「会員及び会費に関する規程」一部改正の件
  15. 第7回「全広連日本宣伝賞」贈呈の件
  16. 令和元年度・全広連夏期広告大学／秋のシンポジウムの件
  17. 内閣府・公益認定等委員会による立入検査
  18. 各地広告協会への支援事業報告
  19. 海外関係
  20. その他

##### ii) 第112回全国事務局長会議

日時 令和元年10月25日 午後0時20分～2時45分

場所 ホテルハマツ 2階「開成の間」(福島県郡山市虎丸町3-18)

- 議事
1. 第67回全日本広告連盟富山大会総括報告
  2. 第68回全日本広告連盟ふくしま大会の概要説明
  3. 8ブロック会議開催報告
  4. 令和元年度理事会結果報告
  5. 事務所賃貸借契約の締結
  6. 令和2・3年度全広連新会費の件
  7. 令和元年度第1回臨時総会の件
  8. 全広連第68回通常総会日程の件

9. 全広連「賛助会員」の件
10. 第71回（令和5年）以降の全広連大会開催地協会の件
11. 第30回（令和元年度）全広連夏期広告大学の報告と第31回（令和2年度）開催協会立候補要請の件
12. 第12回（令和元年度）全広連秋のシンポジウム開催概要の報告と第13回（令和2年度）開催協会立候補要請の件
13. 全広連「助成金」の件
14. 支援助成事業の実施報告の件
15. 令和2年度税制・広告課税問題への対応の件
16. 第8回「全広連日本宣伝賞」各賞候補者推薦の件
17. 高画質ビデオ会議システム導入の件
18. 「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン／クリエイティブ大賞」今後についての件
19. 国際関係活動の件
20. 全広連ウェブサイト掲載用・各地広告協会情報更新への協力のお願い
21. 2026年アジア大会ロゴマークコンペ協力要請の件
22. その他

## II. 組織状況

### 令和元年度 役員一覧

(敬称略・順不同) ※令和2年3月31日現在

理事長	大平 明	(公社)東京広告協会理事長	東京・沖縄ブロック
副理事長	忠田 憲美	富山広告協会理事長	第67回大会開催地協会
	高橋 雅行	福島広告協会会長兼理事長	第68回大会開催地協会
筆頭執行理事	長崎 之保	(公社)東京広告協会専務理事	東京・沖縄ブロック
執行理事	中井 良博	(公社)東京広告協会常務理事・事務局長	東京・沖縄ブロック
理事	作山 充	岩手広告協会理事長	北海道・東北ブロック
	片上 崇	(公社)東京広告協会理事	東京・沖縄ブロック
	小松 佳浩	(一社)長野県広告協会理事長	関東・甲信越ブロック
	吉田 真士	福井広告協会理事長	中部・東海・北陸ブロック
	鈴鹿 且久	京都広告協会理事長	近畿ブロック
	木原 慎二	広島広告協会常任理事	中国ブロック
	寺嶋 隆五	香川広告協会常任理事	四国ブロック
	西山 治宏	福岡広告協会理事長	九州ブロック
監事	龍宝 正峰	(公社)東京広告協会監事	東京・沖縄ブロック
	石村 泰利	静岡県広告協会事務局長	中部・東海・北陸ブロック

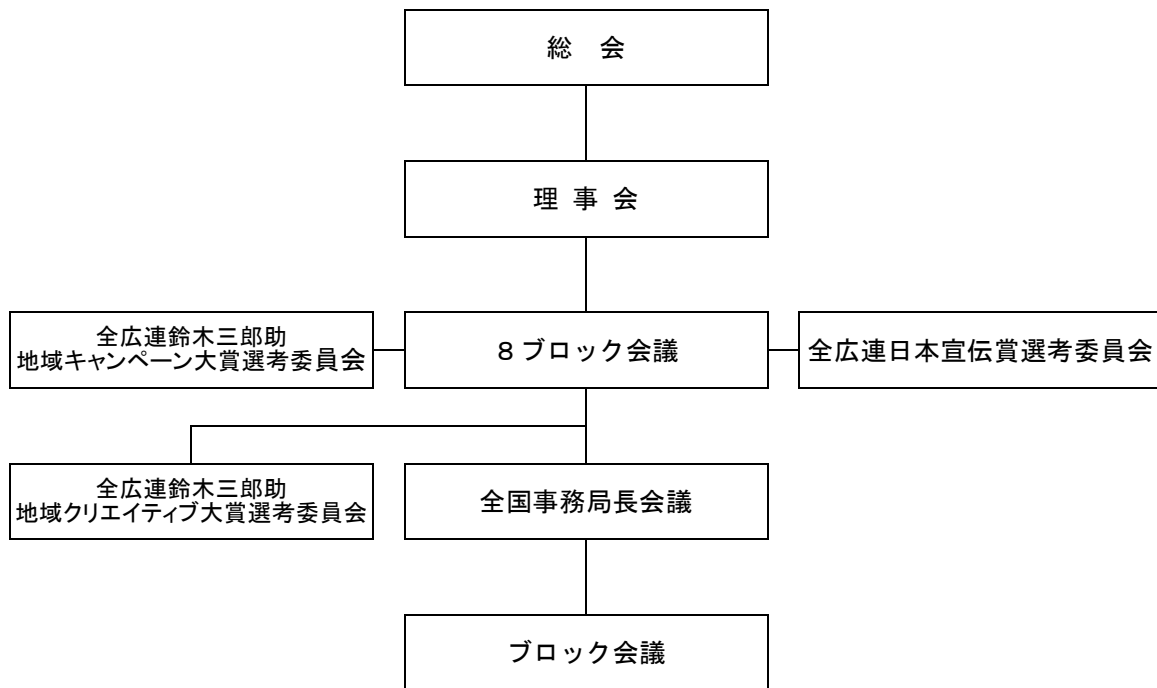
# 令和元年度 8ブロック代表者一覧

(敬称略・順不同) ※令和2年3月31日現在

## ■全広連8ブロック会議

議長	河口悦生	福岡広告協会事務局長	九州ブロック代表
副議長	中井良博	(公社)東京広告協会常務理事・事務局長	東京・沖縄ブロック代表
	阿部典彦	岩手広告協会事務局長	北海道・東北ブロック代表
	斎藤等	横浜広告協会事務局長	関東・甲信越ブロック代表
	島津融	福井広告協会事務局長	中部・東海・北陸ブロック代表
	阿江淳	(公社)大阪広告協会事務局長	近畿ブロック代表
	三藤和之	広島広告協会事務局長	中国ブロック代表
	櫛橋修	香川広告協会理事・事務局長	四国ブロック代表
	長崎之保	(公社)全日本広告連盟筆頭執行理事	

## 公益社団法人全日本広告連盟 組織図





### Ⅲ. 業務執行体制等

令和元年度は、「内部統制システム整備に関する基本方針」に基づき、法人業務の適正を確保するため「役員倫理規程」の運用状況について監査を行った。

#### 公益社団法人全日本広告連盟 内部統制システム整備に関する基本方針

平成26年11月17日 制 定

平成27年11月11日 改 正

- 1 理事・使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制（一般法人法90条4項5号、同法施行規則14条4号）
  - (1) コンプライアンス体制の基礎として、倫理規程、公益通報者保護規程等の規程を定め、職員（事務局業務を委託している公益社団法人東京広告協会の職員を指す。以下同じ。）相互間の適切な監督体制を創設する。
  - (2) 理事が他の理事の法令・定款違反行為を発見した場合は、直ちに監事に報告するなどガバナンス体制を強化する。
  - (3) 職員の法令・定款違反行為については、公益社団法人東京広告協会に対してその就業規則に従って処分を行うことを求める。
  - (4) 監事は、監事監査規程に基づき、理事会への出席、業務執行状況の調査などを通じ、理事の職務執行の監査を行う。
- 2 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制（一般法人法施行規則14条1号）
  - (1) 理事は、社員総会、理事会その他重要な会議の議事録を、法令及び関係規程に従い作成し、適切に保存・管理する。
  - (2) 理事長及び業務執行理事は、法令に従い自己の職務の執行状況を理事会に報告する。
  - (3) 理事は、文書管理規程に従い、法人の事業運営及び業務執行に関わる重要な情報、決定事項、内部規程・規則等は適切に保存し、管理する。
  - (4) 理事及び監事は、いつでもこれらの情報を閲覧又は謄写することができる。
- 3 損失の危険の管理に関する規程その他の体制（一般法人法施行規則14条2号）
  - (1) リスク管理体制の基礎として、リスク管理規程を定め、個々のリスクについての管理責任者を決定し、同規程に従ったリスク管理体制を構築する。
  - (2) 不測の事態が発生した場合には、危機管理を所掌する組織として、理事長を本部長とする対策室を設置し、損害の拡大を防止しこれを最小限に止める体制を整える。
- 4 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制（一般法人法施行規則14条3号）
  - (1) 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制の基礎として、定例

理事会を原則年3回開催するほか、必要に応じて臨時理事会を開催する。

(2) 理事会の決定に基づく業務執行については、諸規程において、それぞれの責任者及びその権限、執行手続について定める。

(3) 理事は、必要な資源の配分の決定又は見直しを行い、効率的な運営を確保する。

**5 監事の職務を補助すべき使用人に関する体制、当該使用人の理事からの独立性に関する事項及び監事の当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項（一般法人法施行規則14条5号、6号、7号）**

(1) 監事はその職務を補助すべき使用人を置くことを求めたときは、当法人は職員から、監事補助者を任命するものとする。

(2) 当該職員は、職務執行に当たっては監事の指揮命令を受け、理事の指揮命令を受けない。

(3) 当該職員の人事評価・異動・懲戒については当法人の監事の事前同意を得た上で、機関決定し、理事からの独立性を確保する。

(4) 監事補助者は、業務の執行にかかる役職を兼務しないこととする。

**6 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項（一般法人法施行規則14条10号）**

(1) 監事の職務の執行について生ずる費用について、前払又は償還を求められた際には、必要な見積書又は証憑の提示を求め、会計処理規程に別に定める手続にしたがって処理することとする。その他の監事の職務の執行について生ずる費用又は債務の処理についても、これに準じることとする。

**7 理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制、当該報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制及び監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制（一般法人法施行規則14条8号、9号、11号）**

(1) 理事及び使用人は当法人の業務又は業績に影響を与える重要な事項について監事にその都度報告する。前記にかかわらず、監事は、いつでも必要に応じて、理事及び使用人に対して報告を求めることができる。

(2) 理事は、公益通報者保護規程を定め、その適切な運用を維持することにより、法令違反その他コンプライアンス上の問題について、監事への適切な報告体制を確保する。

(3) 監事は、必要に応じて、理事会その他の重要な会議に出席し、当法人の業務執行に関する報告を受けることができる。

(4) 監査を実効的に行うために、理事長との間で適宜に意見交換を行う。

（平成26年11月17日 理事会決議）

（平成27年11月11日 理事会決議）

## 附属明細書

重要な事項はすべて事業報告に記載した。